

そこに困った人あれば、笑顔になれる場をつくる。

悩む人あれば、思いをひとつに共に汗を流す。

支えたいと思っていたら、いつの間にか支えられていた。

「ひとり一人の願い」をカタチにする新しい働き方!?

地域の底から、社会をつくる

2019年10月19日(土)

大槌町文化交流センターおしゃっちホール

開場 14:30 ~

映画上映会 15:00 ~ 16:30

トークショー 16:30 ~ 17:30

※森康行監督も登壇します!

料金 500円

※当日先着130名

ワーカーズ Workers 被災地に起つ

監督：森康行 ナレーター：山根基世

(後援) 岩手県大槌町 宮城県亘理町 日本協同組合連合機構 国際協同組合年記念協同組合全国協議会

労働者福祉中央協議会 全国農業協同組合中央会 日本生活協同組合連合会 日本医療福祉生活協同組合連合会 全国労働安全協会 全国労働者生活協同組合連合会
全国森林組合連合会 全国漁業協同組合連合会 全国大学生生活協同組合連合会 日本コープ共済生活協同組合連合会 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会
ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン パルシステム生活協同組合連合会 城南信用金庫 日本協同組合学会 SDGs市民社会ネットワーク じょうさく 共同連

(協賛) 日本高齢者生活協同組合連合会 協同組合研究所 日本フロンティア・ネットワーク

制作著作：日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団 配給：一般社団法人 日本社会政策機構 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会

2018年 | 89分 | HD | 16:9 | カラー | 日本 | ドキュメンタリー



<http://workers2-movie.roukyou.gr.jp>

これは被災地、そして今のニホンを元気にする“まちづくり”の物語。

誰もが不安を抱えるいまだからこそ、見えてくるものがある。

高度経済成長の終焉から半世紀。急激な人口減少社会、ますます広がる貧困や格差は、否応なく私たちに様々な価値観の転換を求めています。そんななか起きた2011年3月の東日本大震災——それは、被災地のみならず、いまを生きる私たちに、改めて“これから、どう生きていくのか”という問いを投げかけました。本作は、これまで長きにわたり、競争、効率、自己責任……ではなく持続可能な社会への仕組みづくりを地域の人とともに模索・実践し続けてきたワーカーズコープ（協同労働の協同組合）による被災地での取り組みの様子を2016年2月から2017年12月までの22ヶ月間にわたって記録したものです。変わりゆく東京の下町での取り組みの様子を描いた第一弾「Workers」（2012）に続く映画第二弾となります。



明日をつくる、自分たちでつくる。

命残された者の使命として、現代を生きるひとりとして——

大槌・気仙沼・亘理・登米——「ひとり一人の願いと困った」からはじまるワーカーズコープの仕事おこしは、被災地でもおこなわれてきた。「放課後の子ども、障がい児を預かってくれる場を」、「お年寄りが安心して暮らせる街を」、「地元の資源を生かした地域の復興を」……と始めた取り組みは、次第に「誰もが集える地域の拠点へ」、「障がいのある人もない人も、自分らしく生きる場を」、「失業した人も、生きづらさを抱える人も、誰もが自分らしく働ける仕事を」、「地域の魅力を生かした村の復興へ」……と、“ひとり”から“みんな”につながっていく。ときに不器用に、ときに無謀に、ともに向き合い動かなかで、優しく育まれるコミュニティの姿。そこには、様々な課題を抱える日本のこれからを考える上で問い直されている「ともに生きる社会」の原点があった——

ワーカーズコープ
[協同労働の協同組合]
とは……?



働く人や市民がみんなを出資し、民主的に経営し、責任を分かちあい、人と地域に役立つ仕事をおこす協同組合。

発祥の地ヨーロッパでは、働き方のひとつとして定着している。一般企業とは違い、ひとり一人が労働者であると同時に経営にも参加する、一人一票の対等な立場でおこなう新しい働き方で、おもにまちづくり関連事業、介護、子育て、就労支援、公共施設の管理運営、食、農、林業などの一次産業を柱に、ボランティアではなく報酬の発生する事業を全国で展開している。

※いま日本には、ワーカーズコープ（労働者協同組合）を規定する法律がありません。現在、国会では超党派の協同組合振興研究議員連盟、与党協同労働法制化ワーキングチームによる法制化に向けた議論が行われています。



監督：森康行 ナレーター：山根蒼世

企画：田中幸子、横山哲平 プロデューサー：藤田直樹、川瀬勇司 プロデューサー：東北担当：小池真、撮影：野間健、古賀隆一 編集：古賀隆一 音楽：平野基子 音楽プロデューサー：八重樫健三 録音：引間保三
製作著作：日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会センター事業団 配給：一般社団法人 日本社会運搬機構、日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会
配給宣伝協力：ワーカーズプロダクション 2018年11月9日（土）16時（日本）公開（日本）

いま、ここに、ともに、生きる

上映に関する
お問い合わせ先

配給：一般社団法人 日本社会運搬機構（担当：酒見・飯沼）
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1丁目44-3 池袋ISPタビル7階
TEL:03-6907-8051 Mail: workers2-movie@roukyou.gr.jp

ワーカーズ
Workers
被災地に起つ

映画公式HP <http://workers2-movie.roukyou.gr.jp> www.facebook.com/workers2M/ twitter.com/Workers2M

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人ワーカーズコープ大槌地域福祉事業所地域共生ホームねまれや
大槌町大ヶ口二丁目 9-26 TEL0193-55-4495 FAX0193-55-4496
otsuchi-fec@roukyou.gr.jp